

動物実験に関する検証結果報告書

（日本大学 松戸歯学部）

動物実験に関する相互検証プログラム

（国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会）

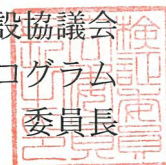
平成 25 年 3 月

平成 25 年 3 月 13 日

日本大学松戸歯学部
学部長 渋谷 鑛 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価結果報告書
に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会
動物実験に関する相互検証プログラム
検証委員会 委員長



対象機関：日本大学 松戸歯学部
申請年月日：平成 24 年 7 月 30 日
訪問調査年月日：平成 24 年 11 月 15 日
調査員：篠田 元扶（獨協医科大学）
三浦 竜一（東京大学）

検証の総評

日本大学は 14 学部、4 独立大学院、通信教育部、短期大学部を含む大きな組織であり、このうち 9 つの学部で動物実験が行われている。日本大学全体として基本指針に適合した機関内規程および動物実験体制を整備したうえで、学部を主体とした運用と管理がなされている。今回他学部に先行して、松戸歯学部が検証を受けた。

機関内規程に基づき設置された大学本部動物実験委員会の管理下に、松戸歯学部動物実験委員会をはじめとして各学部委員会が組織されており、大学全体として統制のとれた動物実験体制が整備されている。両委員会はそれぞれ 8 月を除く毎月開催され、動物実験に関わるさまざまな事項の全学的な決定や標準化が図られている。特に動物実験計画書の承認には、両委員会でのダブルチェックを必要とする。

松戸歯学部においては活発な動物実験委員会活動が認められ、安全管理に関わる他の委員会とも適切に連携している。教育訓練として新規利用者に対し 2 日間の講義と実習を義務化していること、および既登録者に対しては毎年再講習を行うことにより教育を徹底させている点は非常に高く評価できる。良好に維持管理された飼養保管施設では学部独自のマニュアルが整備され小規模の実験が主にコンベンショナル環境下で行われているが、実験の推移を考慮し老朽化した設備を順次更新するなど、将来を見据えた実験環境の整備が望まれる。松戸歯学部としても大学全体としても自己点検評価がまとめられているが、全学的なホームページへの公開が遅れていることは改善すべき点として挙げられる。厳格な実施体制とその機能的な運用を適正な実験動物の飼養保管と動物実験の実施につなげていることは、動物実験に対する大学全体の高い意識と松戸歯学部の高い実行力を示すものであり特筆したい。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
松戸歯学部独自の機関内規程はなく、全学で一本化された「日本大学動物実験運営内規」が定められており、その内容は文部科学省基本指針に則ったものである。各学部はこの内規により全学的に標準化された動物実験を遂行している。よって、動物実験に関する機関内規程の整備状況は適正なものであると判断でき、自己点検・評価結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
機関内規程の名称が「日本大学動物実験運営内規」となっている。学内諸事情も理解できるところであるが、基本指針に基づき「内規」を「規程」に替えることが望ましい。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「日本大学動物実験運営内規」に基づき、動物実験を実施している大学内 9 学部から選出された 18 名の委員で構成される本部動物実験委員会が設置されている。さらに当該内規に基づき各学部に学部動物実験委員会が設置されている。
松戸歯学部における動物実験委員会は 14 名の委員で構成されている。本部および松戸歯学部における動物実験委員会の職務、構成等は文部科学省基本指針に則したものである。よって、動物実験委員会の整備状況についての自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果
<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。<input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果
<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「日本大学動物実験運営内規」により、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の手続きが規定されており、これらの手続きに必要な各種様式が定められているなど基本指針に則した動物実験の実施体制が整備されている。よって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価は妥当である。
3) 検証の結果
<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果
<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「日本大学遺伝子組換え実験実施規程」、「日本大学安全衛生管理規程」、「日本大学松戸歯学部微生物安全管理指針」、「日本大学松戸歯学部微生物管理区域安全運営規則」、「日本大学松戸歯学部バイオセーフティ委員会内規」など安全管理に注意を要する動物実験に関連する規程等が定め

られ、実施体制が整備されている。よって、安全管理を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

学部ごとに飼養保管体制がとられており、松戸歯学部では動物実験センターのみが実験動物飼養保管施設として承認されている。この動物実験センターも3年ごとに学部長による実験動物飼養保管施設としての再承認を受けることになっているなど、適正な飼養保管の体制が整備されている。よって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

意見

特になし。

Ⅱ. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 日本大学においては、本部動物実験委員会と学部動物実験委員会が設置されている。まず、松戸歯学部動物実験委員会において動物実験計画書の審査をはじめ、動物実験結果の把握、教育訓練の実施等が行われたのち本部動物実験委員会に報告され、全学委員によりチェックを受けることで大学全体の標準化が図られている。本部および松戸歯学部における動物実験委員会は基本指針に定められた活動が適正に実施され、議事録も保管されている。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 松戸歯学部では、平成 23 年度は学生実習を含む 34 件の新規動物実験計画が審査され承認された。動物実験計画書は、まず松戸歯学部動物実験委員会で審査されたのち、本部動物実験委員会における再チェックを受けてから承認され、実験実施が可能になる。実験実施報告書は研究業績とともに提出されることになっており、100%の提出率となっている。よって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は行われていない

2) 自己点検・評価の妥当性

安全管理を要する動物実験は、法令および大学の規則に則して安全に実施されている。よって、安全管理を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は行われていない

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

実験動物の飼養保管は、動物実験センターのみで行われている。実験動物の導入、健康管理等実験動物の飼養および保管に関しては学部長により定められたマニュアルが整備されている。よって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 施設の維持管理は適正に行われている。動物実験センターは老朽化が進行している箇所もみられるが、必要な維持管理はなされている。よって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価は妥当な内容である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験実施者の教育訓練を義務化しており、平成 23 年度に実施した教育訓練受講者は 108 名であった。このうち新規受講者は 2 日間にわたる講義および実習が必須となっていることに加え、既登録者に対しては毎年再講習の受講を義務化しているなど、教育訓練を徹底させている姿勢は高く評価される。よって、教育訓練について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

自己点検・評価は、まず松戸歯学部を含め学部ごとに行い、次いで本部動物実験委員会において総合的に評価されている。自己点検・評価は基本指針に適合し適正に実施されている。

情報の公開は大学全体として行い、松戸歯学部独自には行っていない。平成 23 年度より大学ホームページにて機関内規程や実施体制などを公開しているが、自己点検・評価の結果については今回の相互検証結果を含め平成 25 年 4 月を目途に整備する方針であることから、自己点検・評価、情報公開について「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある」とする自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

大学ホームページが立ち上っていることから、これを利用して自己点検評価と本検証結果を含め動物実験の実施状況等の情報公開を早い時期に行うことが望ましい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

意見

特になし。